

令和4年度 病害虫防除技術情報 第4号

令和4年7月1日
大分県農林水産研究指導センター
農業研究部

梅雨明け後の防除対策について

九州北部地方は6月11日の梅雨入り以降、平年より降水量が少なく乾燥傾向であったため、ハダニ類、アブラムシ類、アザミウマ類などの微小害虫が多く発生するとともに、うどんこ病や白絹病などの高温乾燥を好む病害の発生も早まっております。また、23日における福岡管区气象台発表の1か月予報では、平均気温は、平年並20%、高い確率70%、降水量は、少ない確率40%、平年並40%と予想されており、28日には、統計史上最速かつ最短で梅雨明けするなど、ラニーニャ現象も相まって、今後しばらくは高温や乾燥が続くことが予想されております。

そこで、このような気象条件を好む病害虫の発生には、より一層の注意を払うとともに、速やかな防除に努めましょう。

1. 高温乾燥時に注意を必要とする主要病害虫、防除対策及び発生状況

次ページ掲載の表を参照。

2. 防除上注意すべき事項

- 1) 薬剤散布の際は展着剤を加用し、株元にもしっかりと散布する。また、薬剤によっては、高温時に薬害を生じやすいものがあるため、散布時間や天候、使用する展着剤の種類等に十分注意した上で散布を行う。
- 2) 多肥や肥料不足は病害虫の発生を助長するため、適正な肥培管理に努める。

3) 使用薬剤は大分県農林水産研究指導センター農業研究部病害虫対策チームホームページ内にある「大分県主要農作物病害虫及び雑草防除指導指針」を参照し、農薬使用基準（使用時期、使用回数等）を遵守する。中でも同一成分を含む薬剤を連用しないようローテーション散布を心掛ける。（ホームページアドレス <https://www.pref.oita.jp/site/oita-boujoshou/>）



表 高温乾燥時に注意を必要とする主要病害虫、防除対策および発生状況

作物名	病害虫名	主要な防除手段	発生状況
水稲	トビイロウンカ	薬剤防除(苗箱施薬、散布剤)	県内発生未確認(7月1日現在) 他県の誘殺状況: 4月下旬 宮崎県 6月上旬 福岡県 6月中旬 長崎県・鹿児島県 6月下旬 熊本県
野菜	ネギ	白絹病	薬剤防除 【中山間地:6月16~20日調査】 発生時期: 平年より早い 中山間地ネギで6月に初発を確認
		シロイチモジヨトウ	薬剤防除、交信攪乱剤の設置 【平坦地:6月20日調査】 発生時期: 平年より早い 6月発生面積: 平年並 6月発生量: 平年並
		ネギアザミウマ	薬剤防除、周辺雑草の除草 【平坦地:6月20日調査 中山間地:6月16~20日調査】 発生時期: 平年並 6月発生面積: 多い 6月発生量: 多い
	トマト	コナジラミ類	薬剤防除、防虫ネットの設置、 周辺雑草の除草 【6月16~20日調査】 発生時期: 平年並 6月発生面積: 平年並 6月発生量: 平年並
	ピーマン	うどんこ病	薬剤防除、肥培管理 【6月17~21日調査】 発生時期: 平年より早い 6月発生面積: 多い 6月発生量: 多い
		アザミウマ類	薬剤防除、周辺雑草の除草 【6月17~21日調査】 発生時期: 平年より早い 6月発生面積: 平年並 6月発生量: 多い
		タバコガ類	薬剤防除、防虫ネットの設置 【フェロモントラップ誘殺数:6月1~4半旬調査】 発生時期: 平年並 6月発生量: 多い(県南西部)
果樹	ナシ	ハダニ類	薬剤防除 【6月16~22日調査】 発生時期: 平年より早い 6月発生面積: 多い 6月発生量: 多い
		アブラムシ類	薬剤防除 【6月16~22日調査】 発生時期: 平年より早い 6月発生面積: 多い 6月発生量: 多い
	柑橘類	ミカンハダニ	薬剤防除 【温州ミカン:6月16~17日調査】 発生時期: 平年より早い 6月発生面積: 平年並 6月発生量: 多い 【カボス:6月16~20日調査】 発生時期: 平年より早い 6月発生面積: 多い 6月発生量: 多い
	果樹共通	果樹カメムシ類	薬剤防除 【チャバネアカカメムシ越冬量:1月調査】 越冬量は過去10年で最多 【フェロモントラップ誘殺数:6月1~4半旬調査】 6月発生面積: やや多い 6月発生量: やや多い
	茶	チャノホソガ	薬剤防除 【6月17~23日調査】 発生時期: 平年並 6月発生面積: 平年並 6月発生量: 平年並 【フェロモントラップ誘殺数:6月1~5半旬調査】 発生時期: 平年並 6月発生量: やや多い(県東部、南西部)
チャノミドリヒメコバイ		薬剤防除 【6月17~23日調査】 発生時期: 平年並 6月発生面積: 平年並 6月発生量: 平年並	
花き	ハダニ類	薬剤防除 発生時期: 平年並 6月: 少発生(花きグループ内圃場)	